

但馬管内の景気動向調査

2020年1～3月期実績・2020年4～6月期見通し

【特別調査 外国人・海外情勢と中小企業について】

調査の概要

1. 回答数: 411 (前回: 362)
 2. 調査時点 2020年3月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法: ディフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)－「減少」(悪い)の構成比の差＝
判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

2. 製造業（回答数84 前回63）

今回の業況 D.I.は△38.1。特に売上額 D.I.が△48.8、収益 D.I.が△45.2 とマイナスが大きかった。

前四半期比の業況 D.I.は△20.6 と、前四半期と比べても大きく悪化が進んだ。

次回の受注残 D.I.は△46.4 と受注見通しが厳しく、業況 D.I.も△64.3 と更に大きな悪化見通しとしている。

資金繰り D.I.は△26.2 と、資金繰りについても厳しい見通しとなっており、新型コロナウイルス感染症に関する資金繰り支援策の注目が高まっていくことが予想される。

製造業	2020年1～3月実績	前四半期比	2020年4～6月期予想
業況D. I.	△ 38.1	△ 20.6	△ 64.3
前年同期比売上額D. I.	△ 47.6	△ 28.6	-
前年同期比収益D. I.	△ 48.8	△ 28.2	-
売上額D. I.	△ 48.8	△ 37.7	△ 53.6
受注残D. I.	△ 34.5	△ 13.9	△ 46.4
収益D. I.	△ 45.2	△ 29.4	△ 52.4
販売価格D. I.	1.2	△ 5.2	△ 3.6
原材料価格D. I.	26.2	△ 7.1	8.3
原材料在庫D. I.	2.4	△ 4.0	2.4
資金繰りD. I.	△ 21.4	△ 10.3	△ 26.2
借入金の難易度D. I.	△ 6.0	△ 7.5	-
前期比残業時間D. I.	△ 16.7	△ 4.0	△ 27.4
人手過不足D. I.	△ 15.5	14.7	△ 13.1
現在の設備D. I.	△ 11.9	5.6	-
設備投資D. I.	31.0	△ 2.4	-
来期設備投資D. I.	33.3	0.0	-

3. 建設業（回答数85 前回73）

業況 D.I.は、前回、唯一のプラスの業種であったが、今回はマイナスに転じた。また、前年同期比収益 D.I.が△17.6 とマイナスが大きくなっており、前年より収益状況が悪化している様子が見受けられる。

次回の調査期間は、一般的に公共工事の工事代金の入金が増加する時期である。資金繰り予想が上向くことも考えられたが、資金繰り D.I.は△22.6 となっており、調査結果は厳しい見立てであった。

業況 D.I.についても△23.5 となっており、依然改善は見込まれていない状況である。

建設業	2020年1～3月実績	前四半期比	2020年4～6月期予想
業況D. I.	△ 7.1	△ 13.9	△ 23.5
前年同期比売上額D. I.	△ 14.1	△ 25.1	-
前年同期比収益D. I.	△ 17.6	△ 12.2	-
売上額D. I.	△ 2.4	△ 1.0	△ 16.7
受注残D. I.	△ 5.9	△ 7.3	△ 32.1
施工高D. I.	1.2	1.2	△ 16.7
収益D. I.	△ 7.1	△ 8.4	△ 21.4
請負価格D. I.	△ 7.1	△ 8.4	△ 16.7
材料価格D. I.	15.3	△ 5.3	11.9
在庫D. I.	△ 3.6	0.5	△ 4.9
資金繰りD. I.	△ 12.9	3.5	△ 22.6
借入金の難易度D. I.	△ 12.2	0.5	-
前期比残業時間D. I.	1.2	△ 7.0	△ 9.4
人手過不足D. I.	△ 21.4	19.4	△ 19.0
現在の設備D. I.	△ 7.1	3.9	-
設備投資D. I.	23.5	△ 2.5	-
来期設備投資D. I.	29.4	3.4	-

4. 卸売業（回答数47 前回40）

業況 D.I.は△38.3 となっており、前四半期比△8.3 の小幅な悪化であるが、依然厳しい状況が窺える。

特に、前四半期比の売上額 D.I.が△50.4、収益 D.I.が△47.9 となっており、悪化が非常に大きくなっている。

次回についても、売上額 D.I.が△44.7、収益 D.I.が△44.7 と厳しい見通しとなっている。業況 D.I.も△59.6 と他の業種同様にマイナスであり、更に厳しい状況が予想されている。

卸売業	2020年1~3月期実績	前四半期比	
		前四半期比	2020年4~6月期予想
業況D.I.	△ 38.3	△ 8.3	△ 59.6
前年同期比売上額D.I.	△ 39.1	△ 9.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 34.8	△ 7.3	-
前年同期比販売価格D.I.	10.9	△ 16.6	-
売上額D.I.	△ 40.4	△ 50.4	△ 44.7
収益D.I.	△ 40.4	△ 47.9	△ 44.7
販売価格D.I.	2.1	△ 32.9	△ 6.4
仕入価格D.I.	10.6	△ 14.4	△ 2.1
在庫D.I.	6.4	△ 8.6	2.1
資金繰りD.I.	△ 23.4	4.1	△ 27.7
借入金の難易度D.I.	△ 20.5	△ 2.5	-
前期比残業時間D.I.	△ 14.9	△ 12.4	△ 8.5
人手過不足D.I.	△ 17.0	15.5	△ 17.0
現在の設備D.I.	△ 15.2	△ 5.0	-
設備投資D.I.	25.5	△ 7.0	-
来期設備投資D.I.	29.8	△ 12.7	-

5. 小売業（回答数58 前回50）

業況 D.I.は△36.2 となっている。前四半期は△6.2 であり今回の悪化は小幅であったが、次回の業況 D.I.は△64.9 と、業種の中で最も厳しい見通しとなっている。

借入金の難易度 D.I.は△22.8 と、借入が難しいと感じる企業が多い状況で、資金繰りが D.I.△31.0 とマイナスが大きい状況から資金繰りも厳しい様子である。

次回の資金繰り D.I.は△41.4 と更に悪化する予想であり、資金調達が喫緊の課題となる企業も多くなることが考えられる。

小売業	2020年1~3月期実績	前四半期比	
		前四半期比	2020年4~6月期予想
業況D.I.	△ 36.2	△ 6.2	△ 64.9
前年同期比売上額D.I.	△ 31.0	△ 19.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 24.1	△ 0.1	-
前年同期比販売価格D.I.	6.9	△ 11.1	-
売上額D.I.	△ 34.5	△ 40.5	△ 53.4
収益D.I.	△ 29.3	△ 21.3	△ 53.4
販売価格D.I.	0.0	△ 16.0	△ 10.3
仕入価格D.I.	8.6	△ 21.4	△ 10.3
在庫D.I.	△ 3.4	△ 7.4	△ 12.1
資金繰りD.I.	△ 31.0	1.0	△ 41.4
借入金の難易度D.I.	△ 22.8	3.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 5.2	△ 3.1	△ 8.6
人手過不足D.I.	△ 5.2	17.3	△ 6.9
現在の設備D.I.	△ 5.2	6.8	-
設備投資D.I.	27.6	3.6	-
来期設備投資D.I.	24.1	4.1	-

6. 不動産業（回答数12 前回11）

業況 D.I.は△16.7とマイナスとなっている。販売価格 D.I.が△18.2となっており、販売価格の低下が業況に悪影響を与えていると思われる。

また、前年同期比収益 D.I.が△33.3であり、前年に比べて収益状況が悪化している企業が多くなっていることが確認できる。

次回業況 D.I.は△8.3と、他業種と比べればマイナスは小さいが、プラスマイナスゼロの項目が大半であり、漠然とした不安であることも考えられる。

不動産業	2020年1~3月期実績	前四半期比	2020年4~6月期予想
業況D.I.	△ 16.7	△ 7.6	△ 8.3
前年同期比売上額D.I.	△ 16.7	△ 6.7	-
前年同期比収益D.I.	△ 33.3	△ 23.3	-
売上額D.I.	△ 8.3	9.8	0.0
収益D.I.	△ 8.3	9.8	0.0
販売価格D.I.	△ 18.2	△ 18.2	0.0
仕入価格D.I.	△ 9.1	0.0	0.0
在庫D.I.	0.0	9.1	0.0
資金繰りD.I.	0.0	0.0	0.0
借入金の難易度D.I.	0.0	△ 10.0	-
前期比残業時間D.I.	0.0	9.1	0.0
人手過不足D.I.	△ 16.7	1.5	△ 16.7

7. サービス業（回答数125 前回125）

業況 D.I.は△46.4と、今回最も悪い業種であった。

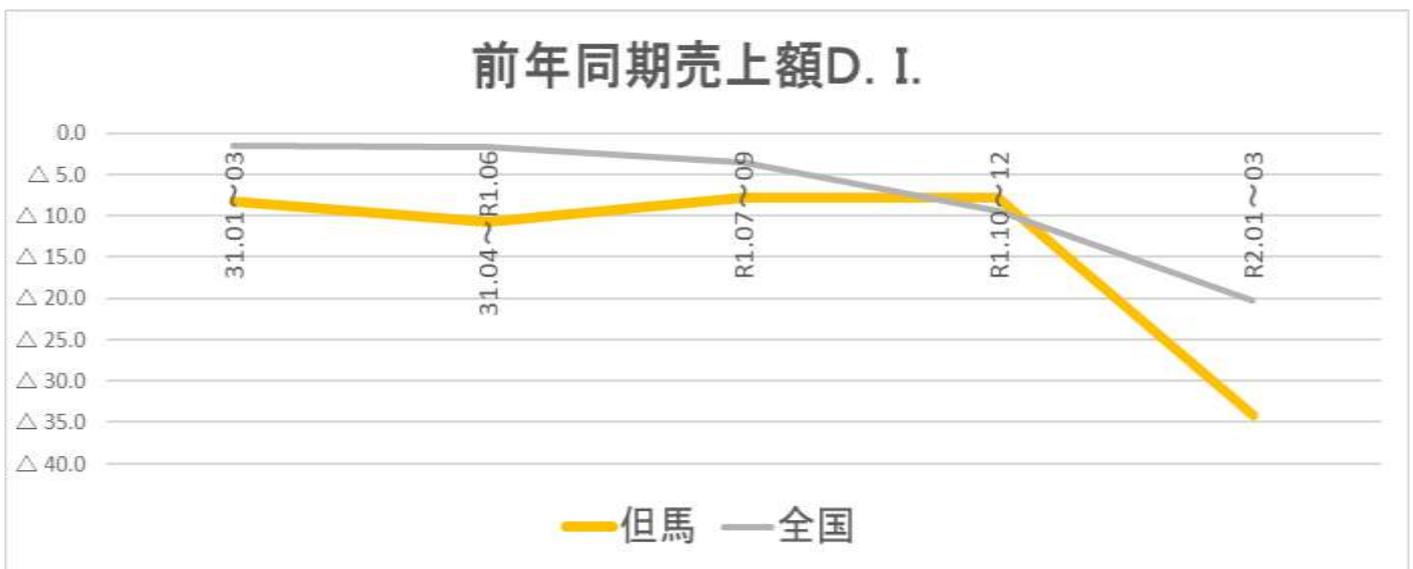
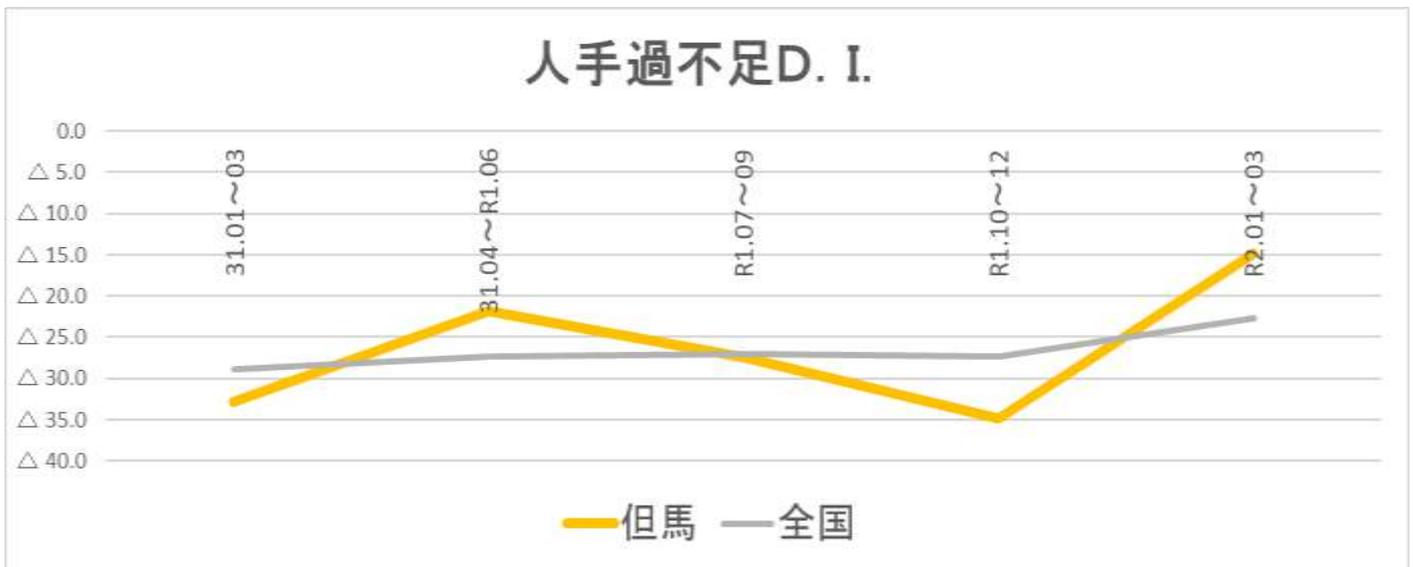
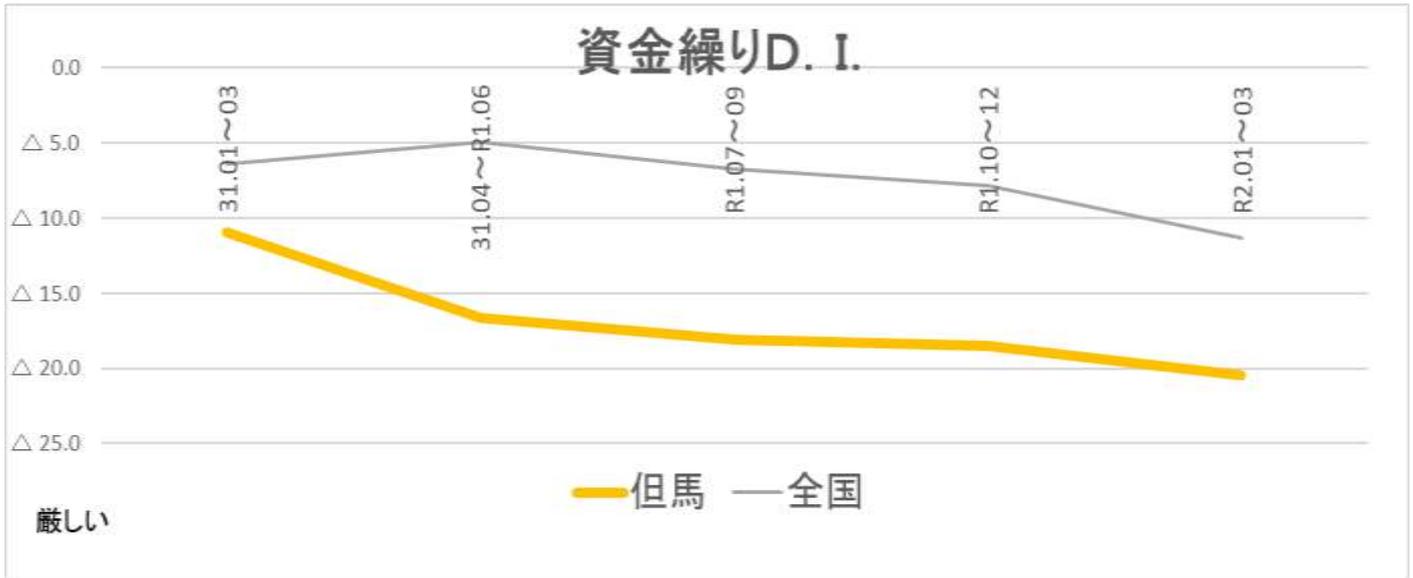
今回の人手過不足 D.I.は△13.6であり、前四半期比27.2と人手不足感は緩和したが、依然として人手不足が続いていることが窺える。

次回、売上額 D.I.は△63.2と大変厳しい予想である。

業種柄、新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けると考える企業が多いものと思われる。

次回の業況 D.I. △63.2は、小売業・製造業に次いで厳しい予想である。

サービス業	2020年1~3月期実績	前四半期比	2020年4~6月期予想
業況D.I.	△ 46.4	△ 30.4	△ 63.2
前年同期比売上額D.I.	△ 40.0	△ 36.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 39.2	△ 29.5	-
売上額D.I.	△ 24.0	△ 27.2	△ 63.2
収益D.I.	△ 27.2	△ 28.0	△ 60.0
料金価格D.I.	2.4	△ 13.6	△ 11.2
材料価格D.I.	7.2	△ 17.6	1.6
資金繰りD.I.	△ 20.8	△ 4.0	△ 38.4
借入金の難易度D.I.	△ 7.3	9.1	-
前期比残業時間D.I.	△ 12.8	△ 16.8	△ 16.8
人手過不足D.I.	△ 13.6	27.2	△ 11.2
現在の設備D.I.	△ 15.3	4.8	-
設備投資D.I.	22.4	△ 7.2	-
来期設備投資D.I.	29.6	1.6	-



業種別DI等の推移表

製造業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度	現在 の 設 備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	前期比 残業時間				人手
31.01~03	△ 4.1	△ 8.2	△ 1.4	△ 17.6	△ 2.7	△ 24.3	0.0	27.0	2.7	△ 5.4	5.4	△ 42.5	8.1	△ 20.3	37.8
31.04~R1.06	△ 0.0	△ 7.7	△ 10.3	△ 1.3	△ 2.6	△ 6.4	9.0	23.1	0.0	△ 5.1	△ 6.4	△ 26.9	△ 1.3	△ 15.4	28.2
R1.07~09	△ 13.3	△ 8.5	△ 11.0	△ 12.0	△ 1.2	△ 15.7	9.6	28.9	1.2	△ 13.3	△ 3.7	△ 33.3	2.4	△ 17.1	38.6
R1.10~12	△ 17.5	△ 19.0	△ 20.6	△ 11.1	△ 20.6	△ 15.9	6.3	33.3	6.3	△ 11.1	△ 12.7	△ 30.2	1.6	△ 17.5	33.3
R2.01~03	△ 38.1	△ 47.6	△ 48.8	△ 48.8	△ 34.5	△ 45.2	1.2	26.2	2.4	△ 21.4	△ 16.7	△ 15.5	△ 6.0	△ 11.9	31.0
R2.04~06	△ 64.3														

建設業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度	現在 の 設 備	設備投資 実施割合		
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格	材料価格	在庫	資金繰り				前期比 残業時間	人手
31.01~03	△ 4.9	△ 13.4	△ 8.5	△ 12.2	△ 24.7	△ 7.3	△ 8.5	△ 1.2	29.3	△ 4.9	△ 11.0	△ 8.5	△ 43.9	5.1	△ 7.3	34.1
31.04~R1.06	3.8	7.3	9.8	6.1	3.7	7.3	1.2	△ 4.9	17.1	△ 1.2	△ 9.8	△ 4.9	△ 26.8	△ 2.7	△ 6.1	28.0
R1.07~09	△ 4.4	△ 2.2	△ 5.6	△ 1.1	△ 1.1	0.0	△ 7.8	△ 1.1	24.2	2.2	△ 12.1	△ 5.5	△ 28.9	△ 4.5	△ 8.9	26.4
R1.10~12	6.8	11.0	△ 5.5	△ 1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	20.5	△ 4.1	△ 16.4	8.2	△ 40.8	△ 12.7	△ 11.0	26.0
R2.01~03	△ 7.1	△ 14.1	△ 17.6	△ 2.4	△ 5.9	1.2	△ 7.1	△ 7.1	15.3	△ 3.6	△ 12.9	1.2	△ 21.4	△ 12.2	△ 7.1	23.52941
R2.04~06	△ 23.5															

卸売業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度	現在 の 設 備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間				人手
31.01~03	△ 16.3	△ 16.7	△ 2.1	25.0	△ 16.3	△ 14.3	18.4	14.3	8.2	△ 8.2	0.0	△ 14.3	△ 8.3	△ 6.3	26.5
31.04~R1.06	△ 16.2	△ 8.1	△ 2.7	10.8	2.7	△ 10.8	5.4	13.5	10.8	△ 18.9	2.7	△ 8.1	△ 11.4	△ 8.1	35.1
R1.07~09	△ 34.9	△ 27.9	△ 18.6	△ 2.3	△ 16.3	△ 18.6	△ 4.7	7.0	4.7	△ 25.6	△ 7.0	△ 20.9	△ 19.5	△ 11.6	20.9
R1.10~12	△ 30.0	△ 30.0	△ 27.5	27.5	10.0	7.5	35.0	25.0	15.0	△ 27.5	△ 2.5	△ 32.5	△ 17.9	△ 10.3	32.5
R2.01~03	△ 38.3	△ 39.1	△ 34.8	10.9	△ 40.4	△ 40.4	2.1	10.6	6.4	△ 23.4	△ 14.9	△ 17.0	△ 20.5	△ 15.2	25.5
R2.04~06	△ 59.6														

小売業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度	現在 の 設 備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間				人手
31.01~03	△ 19.7	△ 14.8	△ 6.6	14.8	△ 13.1	△ 18.0	3.3	9.8	6.6	△ 26.2	△ 6.7	△ 16.7	△ 15.0	△ 11.7	21.3
31.04~R1.06	△ 32.7	△ 23.6	△ 27.3	14.5	△ 22.2	△ 29.6	9.3	18.5	△ 1.9	△ 24.1	△ 9.1	△ 18.2	△ 15.1	△ 10.9	16.4
R1.07~09	△ 42.9	△ 23.8	△ 25.4	3.2	△ 12.7	△ 14.3	1.6	9.5	1.6	△ 38.1	△ 6.3	△ 19.4	△ 22.6	△ 8.1	19.0
R1.10~12	△ 30.0	△ 12.0	△ 24.0	18.0	6.0	△ 8.0	16.0	30.0	4.0	△ 32.0	△ 2.0	△ 22.4	△ 26.0	△ 12.0	24.0
R2.01~03	△ 36.2	△ 31.0	△ 24.1	6.9	△ 34.5	△ 29.3	0.0	8.6	△ 3.4	△ 31.0	△ 5.2	△ 5.2	△ 22.8	△ 5.2	27.6
R2.04~06	△ 64.9														

サービス業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度	現在 の 設 備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り	前期比 残業時間	人手					
31.01~03	0.0	△ 7.8	△ 10.2	4.7	4.8	4.0	15.1	△ 7.9	0.0	△ 35.2	△ 14.4	△ 25.8	21.9		
31.04~R1.06	△ 25.0	△ 21.8	△ 21.0	△ 20.0	△ 24.2	△ 10.8	3.4	△ 25.8	△ 12.5	△ 21.8	△ 13.9	△ 23.3	24.2		
R1.07~09	△ 6.2	1.4	△ 6.2	7.5	1.4	0.0	7.5	△ 16.4	△ 1.4	△ 28.8	△ 10.8	△ 27.4	23.3		
R1.10~12	△ 16.0	△ 4.0	△ 9.7	3.2	0.8	16.0	24.8	△ 16.8	4.0	△ 40.8	△ 16.4	△ 20.2	29.6		
R2.01~03	△ 46.4	△ 40.0	△ 39.2	△ 24.0	△ 27.2	2.4	7.2	△ 20.8	△ 12.8	△ 13.6	△ 7.3	△ 15.3	22.4		
R2.04~06	△ 63.2														

不動産業	前年同期に比べた											借入金 の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	
31.01~03	10.0	△ 11.1	△ 11.1	10.0	0.0	10.0	11.1	△ 11.1	△ 10.0	0.0	△ 33.3	0.0
31.04~R1.06	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	△ 12.5	0.0
R1.07~09	△ 8.3	0.0	△ 16.7	△ 8.3	△ 25.0	△ 8.3	△ 8.3	△ 16.7	16.7	0.0	△ 27.3	30.0
R1.10~12	△ 9.1	△ 10.0	△ 10.0	△ 18.2	△ 18.2	0.0	△ 9.1	△ 9.1	0.0	△ 9.1	△ 18.2	10.0
R2.01~03	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3	△ 8.3	△ 8.3	△ 18.2	△ 9.1	0.0	0.0	0.0	△ 16.7	0.0
R2.04~06	△ 8.3											

全業種	前年同期に比べた											借入金 の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	前期比 残業時間	人手				
31.01~03	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3			
31.04~R1.06	△ 13.2	△ 10.8	△ 10.6	△ 7.9	△ 13.7	△ 16.6	△ 7.1	△ 21.9	△ 8.6			
R1.07~09	△ 15.3	△ 7.8	△ 11.2	△ 3.7	△ 8.7	△ 18.0	△ 3.9	△ 27.5	△ 8.5			
R1.10~12	△ 14.9	△ 7.8	△ 14.7	0.3	△ 3.0	△ 18.5	0.0	△ 34.8	△ 13.2			
R2.01~03	△ 33.3	△ 34.1	△ 33.9	△ 27.5	△ 28.0	△ 20.4	△ 9.5	△ 14.9	△ 11.4			
R2.04~06	△ 53.4											

全国	前年同期に比べた				
	業況	売上額	収益	資金繰り	人手
31.01~03	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4	△ 28.9
31.04~R1.06	△ 3.3	△ 1.7	△ 4.7	△ 4.9	△ 27.4
R1.07~09	△ 4.7	△ 3.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 27.0
R1.10~12	△ 7.8	△ 9.4	△ 11.9	△ 7.8	△ 27.4
R2.01~03	△ 19.3	△ 20.3	△ 20.9	△ 11.3	△ 22.7
R2.04~06	△ 25.9				

《特別調査》外国人・海外情勢と中小企業について

【問1】外国人と接する機会について

「変わらない」の回答割合は全国 76.3%・当金庫 80.6%であった。大半の企業が外国人と接する機会に変動していない様子。「非常に増えている」「増えている」と回答した割合は全国がやや多かった。



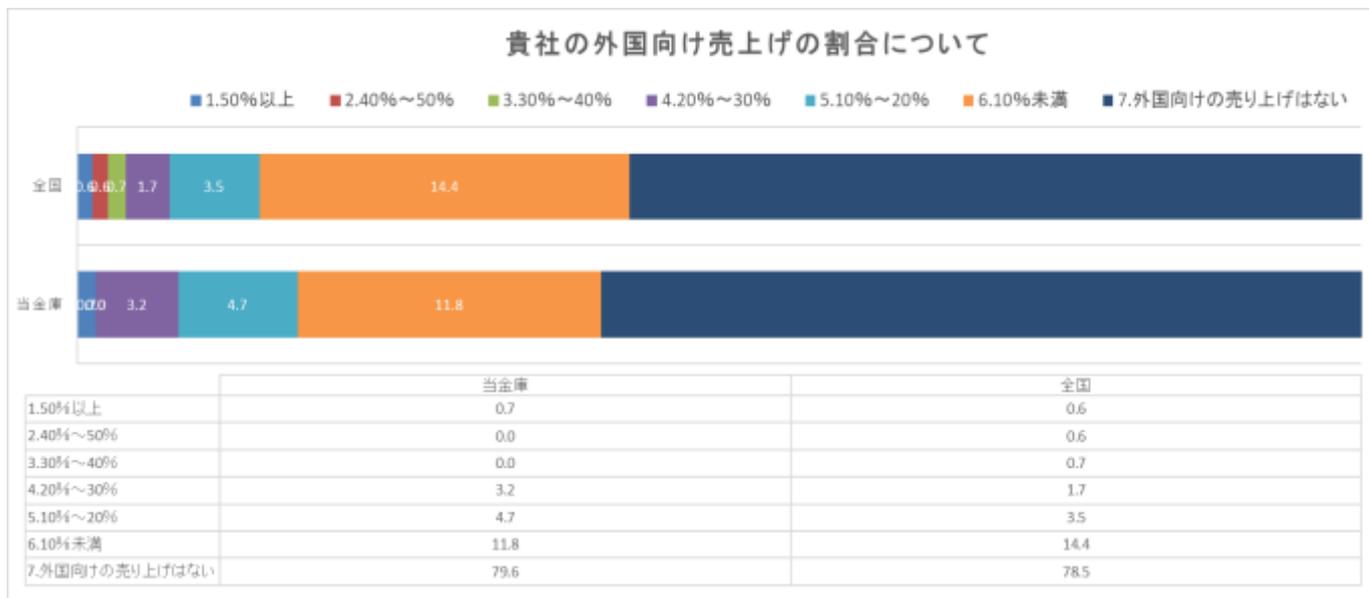
【問2】外国人労働者の割合について

「0%」の回答割合は全国 87.1%に対して当金庫 92.4%であった。当金庫内のほうが外国人の雇用が少ない状況だが、全国・当金庫ともに外国人の割合はまだ低い状況である。



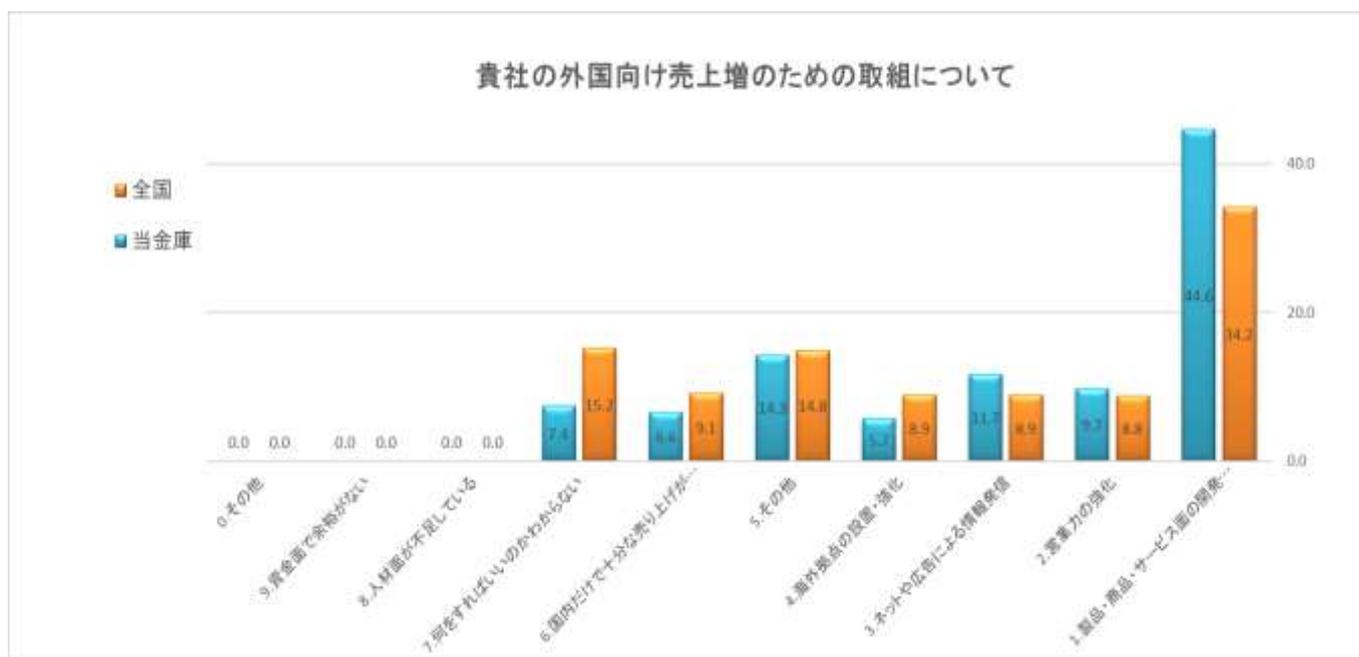
【問3】外国向け売上げの割合について

「外国向けの売り上げはない」と回答した割合は、全国が79.6%に対して当金庫が78.5%であった。全国と当金庫内の傾向に大きな違いはなく、いずれも多く企業が国内向け中心の売上げ構成であることが確認できる。



【問4】外国向け売上げ増のための取組について

「製品・商品・サービス面の開発強化」と回答した割合は、全国44.6%に対して当金庫34.2%であった。全国・当金庫内ともに最も取り組みの多い項目であったが、取り組み状況においては、全国のほうがやや積極的な状況である。また、「何をすればいいのかわからない」の回答は、全国7.4%・当金庫15.2%となっており、当金庫内では、有効な取り組みについての情報が求められている。



【問5】特に注目している海外情勢について

「北朝鮮問題」と回答した割合が全国 70.7%・当金庫 63.8%であり、全国・当金庫ともに最も注目されている項目であった。「アメリカ経済・大統領選挙」の回答割合は、全国 14.0%・当金庫 18.9%となっており、いずれも2番目の注目項目となっている。



以上

参考文献 信金中央金庫 地域・中小企業研究所「第179回全国中小企業景気動向調査」